

あらゆるビジネスシーンで活躍の会員の皆様をご紹介します。

ビジネス×インタビュー

田中社寺株式会社

代表取締役

田中敬二さん

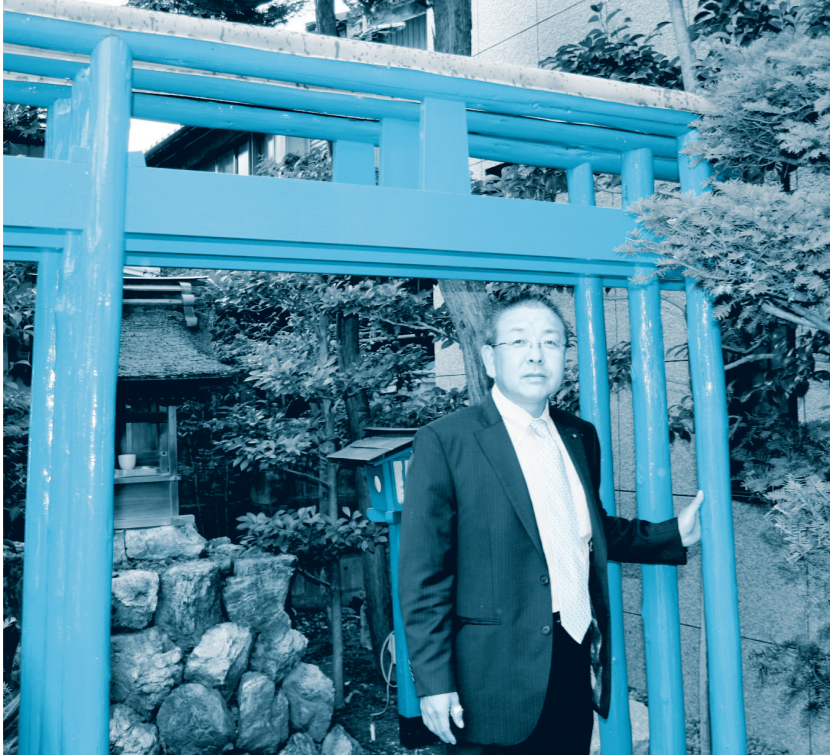


職人の厳しさを学ぶ

私が入社したのは27歳のときでした。それまで働いていたのは全く違う業界で、まさか私が跡を継ぐことになるとは思いませんでした。当時、建築業界は後継者不足に悩んでおり、このままでは将来廃れてしまうのではないかという危機感もありました。「息子が継がないで一体誰が継ぐのか？」と問われ、この世界に飛び込むことを決意したのです。

入社後5年間は職人と一緒に働きました。そこで初めて職人の世界の厳しさを思い知らされました。擦り傷、切り傷は当たり前、あつという間に体は傷だらけになります。また、社名の示すとおり、全国各地の社寺仏閣や重要文化財の修繕が主な仕事で、依頼があれば全国どこへでも出張します。遠方であれば現場に長期滞在することも多く、家に帰るのは年に数日ということもあり、「陸の船員」と言われるほどでした。現場では父親以上に年の

によって多様です。建造物はまさに現存する歴史と言えます。そのため建造物が刻み続けてきた歴史を一度失ってしまうと、永遠に取り戻すことはできません。歴史と伝統を次の時代へ継承していくため、当時と同じ技法を用いて修繕していきます。柱などの部材が傷



伝えていきたい技と心

離れた親方と寝食を共にし、正直辛いと思うことも多々ありました。しかし、大先輩と一緒に過ごし、手を動かすことが一番の勉強だったことは言うまでもありません。技を知るためには、何よりも汗をかくことが大切だということをもつて経験しました。

文化財は現存する歴史

当社は明治35年の創業以来、一貫して数多くの国宝や重要文化財等歴史的建造物の修繕を手がけてきました。何百年の歴史があるものですから、修繕の際にも細心の注意を払います。瓦や柱を傷つけることは許されませんが、たとえ小さな部材であっても失くすわけにはいきません。また、すべて手作業ですので施工期間は長い物件で10年に達します。丁寧に解体していくことで、当時の技法や材質が分かり歴史を感じます。屋根の構造を見ても、檜皮葺、こけら葺、茅葺など時代と環境

職人集団であり続けたい

おかげさまで当社も創業100年を過ぎ、老舗と言われるまでになりました。これまでの実績を大変誇りに思います。そして、それを築き上げてきた伝統の技を絶やさぬよう、職人の育成にも積極的に取り組んでいます。建造物の歴史を守り抜いてきたのは他でもない職人たちだからです。彼らの技が伝承されてきたからこそ、日本の歴史は守られてきたのだと思います。毎年多くの若者たちが当社の門を叩いてくれます。こうした若い世代に変わらぬ技と職人魂を継承していくのも、私たちの使命だと思っています。これからは「職人集団」として、「技」と「心」で日本の歴史を守り抜いていきたいと思っています。

夢

いつの日か加納城が復元されることを夢んでいます。岐阜城とともに素晴らしい観光資源になると思います。

今月の会社データ

田中社寺株式会社

住所 岐阜市加納東丸町2-20
電話番号 058-272-2871
創業内容 国宝・重要文化財保存修理工事・社寺建築工事
創業 明治35年